

佐鳴湖講演会 2017 冬シンポジウム

何が今、問題なのか

大学の軍事研究

— 科学者と学生・市民との対話 —

日時：2017年2月11日(土) 午後2時開会
(午後1時半開場)

会場：静岡大学浜松キャンパス内 佐鳴会館会議室

参加費無料

第1部 講演 田原博人氏

「体験を通して語る 科学研究の危うさ」

(宇都宮大学名誉教授、宇都宮大学元学長)

<休憩(10分) 田原博士のびっくり科学実験 答えは一つか>

第2部 パネル討論+会場との質疑応答

パネラー

斎藤郁真氏、田原博人氏

(全学連委員長、法政大学法学部)

井上正男氏 (科学ジャーナリスト)



田原博人氏
宇都宮大学名誉教授



斎藤郁真氏
全学連委員長

日本学術会議は先の戦争への反省から軍事研究には一切関わらない決議を、戦後2度にわたり採択してきました。しかし2016年5月、「安全保障と学術に関する検討委員会」を設置。「日本の科学技術」のあり方や「科学者と戦争」の関わり方など広く議論が交わされています。

大学の軍事研究のあり方は大学だけでなく、国の将来にも深く関わります。科学者や関係者に限らず、

学生や市民との意思疎通を図る対話が重要ではないでしょうか。大学の軍事研究が急速に拡大の様相をみせているからこそ、こうした取り組みはぜひとも必要です。

何がいま起きていて、何が問題なのか。思想信条にとらわれることなく、ものづくりという広い視野から、科学者はもちろん、若者や一般市民にも考えていただきたいと企画しました。

主催：さなるこ地域住民ネットワーク

問い合わせ先＝井上 (053-489-9189 または minoue@nsknet.or.jp)

後援：中日新聞東海本社